



ごうちゃんねる (GO-CHANNEL)

2023/08/21

あっさり黙示録 #68
新天新地と新しいエルサレム
人類歴史の最終ゴール
黙示録 21章

東住吉キリスト集会 高原 剛一郎 氏



お元気ですか。高原剛一郎です。私は今、長野県菅平（すがだいら）高原のヘルモン山荘で、この動画を収録しております。昨日まで、こちらでバイブルキャンプがありました。色んなところから参加していただいて、アメリカからわざわざ駆けつけてくださった方もいたんですね。実に素晴らしい機会となりました。来年もこのシーズンに行きますので、皆さまにもお越しいただきたいと思います。この時のメッセージは来月9月に、毎週1回のペースで公開していきますのでご覧ください。

ところで、参加者の中に臨床心理士、そして行動分析学で非常に有名な奥田健次（おくだ けんじ）さんも参加されてたんです。彼とは対面で何回もお話ししているのですが、近況を伺って、ぜひ皆さまにも知っていただきたいのでご紹介します。

この方は自閉症児、発達障害のお子さんたちの問題行動を、まるで魔法をかけるみたいにパチンと一発で激変させるというか、今まで素晴らしい改善をもたらして来ました。専門家のドクターが「もうお手上げ！」というお子さんたち。専門家は「もうお手上げ」でいいかもしれませんが、ずっと面倒見ていく保護者は、専門家に突き放されたらどうしたらいいんでしょう。最終的に奥田さんのところに行く方が多いんですね。今までの取り扱い件数は約3万件。その事例の中で、解決しなかったためしがないんですよ。

また、奥田さんは出張カウンセラーだけではなく、幼稚園を設立しています。「サムエル幼稚園」といって、私もこの幼稚園で講演したことがあります。非常に目覚ましい教育成果を上げておられるんですね。この実践経験を踏まえて、来年4月に小学校の開校が決まっています。奥田さんが指導する小学校、インクルーシブ教育に基づく小学校です。その名も「さやか星小学校」。私も子供たちが小学生なら絶対に入れたいな、と思う小学校です。

さて、今日は久しぶりに**あっさり黙示録**第68回目！パチパチパチパチ！今日は前回と違って、気持ちも軽やかにお話できると思います。前は**白い御座のさばき**。神は要らないと決断した人が死後最終的に行く場所、死後の裁きについてのメッセージでした。正直、説明しながら気が重かったのですが、今回は、救い主イエス・キリストを受け入れた人が最終的に行く世界、新天新地についての解説なんです。

黙示録 21章

1 また私は、新しい天と新しい地を見た。以前の天と以前の地は過ぎ去り、もはや海もない。

黙示録 2 1 章には3つの新しいものが出て来ます。新しい天、新しい地、新しいエルサレム。新しいエルサレムこそは新しい天と地の首都で天国の本質です。天国ってどんなところ？新しいエルサレムのようなところなんですね。

その前に、ちょっと気になる箇所を 1 節読みましょう。

1 新しい天と新しい地を見た。以前の天と以前の地は過ぎ去り、もはや海もない。

以前の天と以前の地は、共同訳聖書によると最初の天、最初の地です。最初の天は最初に創られた天のこと。創世記 1 章で、はじめに神が天と地を創造されたとありますね。今私たちが暮らしている地球や、地球から見上げている宇宙は最初の天です。しかし、歴史の最終ゴールに準備されているものは、今私たちが見ている天も地もすべて過ぎ去り、新しい天と新しい地に入れ替わってしまうんです。

ところで、すべての天も地も過ぎ去る、なくなってしまうというのはどう意味なんでしょう。文字通りの意味なんです。イエス・キリストはこの地上におられる時に言われました。「この天地は崩れ去ります。しかし、わたしのことばは、決して崩れ去ることも、過ぎ去ることもありません」

その崩れ方について、はっきりと説明している新約聖書の箇所があります。

第二ペテロ 3 章

12 そのようにして、神の日が来るのを待ち望み、到来を早めなければなりません。その日の到来によって、天は燃え崩れ、天の万象は焼け溶けてしまいます。

空間が消滅するとか、天の万象が焼け溶けるというのはどういうことなんだろう。天の万象と翻訳されているのは、ギリシア語でストイケイア。ストイケイアは直訳すると、自然界を構成している諸々の要素、あるいは諸元素という意味です。ここは直訳でよかったんじゃないかなと思うんですけど。直訳は、すべてのものを形作っている元素、原子、素粒子を結び付けている力を意味しているんですね。そういうものが全部焼け溶けてしまいますということです。これはどういうことなの？今なら分かります。20世紀の素粒子の知見によって。

自然界には4つの力があります。今日はそのややこしい話はやめますが、世界を構成しているものは原子と、原子の結合による分子なんですね。この木製のテーブルも、この高級Tシャツも、マイクも部屋も、様々な分子が形作っている素材が組み合わされているのです。分子は原子と原子が結合していて、その結合する力を電磁気力といいます。例えば水はH₂O。水素原子と炭素原子が結びついているのですが、結び付けている力が電磁気力です。これが取り払われたら、すべての分子は一挙に崩壊し、原子しか存在しなくなるんですね。

では、原子は何によって構成されているんでしょう。原子は原子核という部分と電子が回っていて、原子核の中に陽子があります。原子核は狭くて、狭いという表現…目に見えないんです。そもそも原子は見えません。

その狭くて小さい原子核の中に陽子が入っている。陽子はプラスの電荷なので、それ同士は反発し合います。磁石のN極とN極を無理やりくっつけようとしても無理じゃないですか。アレですよ。陽子と陽子はくっつかない。反発し合う。

なのにぎっちり、まるで何者かによって無理やりギューツと握りしめられているみたいに、狭い所にすし詰め状態になっている。

この反発し合う陽子を結び付けている力を強い力というんですね。

自然界に存在する4つの力は重力、電磁気力、弱い力、強い力。

強い力が除去されると原子核が一気に崩壊します。

電磁気力がなくなると分子が崩壊し、強い力がなくなったら原子が崩壊する。

それが、天は燃え崩れ、天の万象（ストイケイア）は焼け溶けてしまうということです。そうなると一瞬にして、この地球も宇宙も惑星も含めて、すべての物質が無くなります。焼け溶けてしまう。

新天新地の前に、旧天旧地が一瞬にして無くなってしまふのをここで解説しているんですが、私たちは神の約束にしたがって、義が宿る新しい天と新しい地を待ち望んでいるんです。

古い天地が無くなった後、世界はどうなるんでしょう。

黙示録 21 章

1 また私は、新しい天と新しい地を見た。以前の天と以前の地は過ぎ去り、もはや海もない。

はあ?! 海がない?! サーファーのみなさん、ガッカリしないでください。

磯釣り好きなアナタ、「海がない! そんな天国行きたくない!」いやいや、あのね。新しい天と新しい地には海はないんですが、海に代わるものがちゃんあるんですよ。いのちの水の川というのが流れてるんです。神さまが何かを無くす時、それに良い面がある場合は、もっと良いものを必ず準備して下さるんです。

私も「ああ神さま、なんでこれを取り上げられてしまうんでしょうか…」数年後、もっと素晴らしいもので満たされたという経験が何度もあります。

とにかく素晴らしい世界なんですが、そうなっている一番のものは新しい天と新しい地に首都があるということなんですね。

2 私はまた、聖なる都、新しいエルサレムが、夫のために飾られた花嫁のように整えられて、神のみもとから、天から降って来るのを見た。

新しいエルサレムは元々天にあるんです。

それは至聖所のことなんですが、なぜそれが分かるのかは3回くらい先にやります。新しいエルサレムのサイズは12000 スタディオン×12000 スタディオン×12000 スタディオンで立方体です。

実は天国の様子を模式化したものが幕屋。幕屋の一番奥にあるのが至聖所で立方体なんですね。すなわち、神の王座がある所が、手が届かない遠い所ではなく、地上に下りて来る。つまり、**新天新地**は天国の中心と地球が合体する世界なんです。これについては次々次回くらいに。これは続けて見ないとダメですよ。ぜひご覧ください。

今日は、**新天新地**の特徴と**新しいエルサレム**についてお話しして終わります。「お風呂に入るの、めんどくさいよ～」と言ってる人でも、実際に入ると、入浴したのを後悔する人っていないんです。入ってみたら「さっぱりして気持ちよかったあ」になるからですよ。

今回ね、菅平の**バイブルキャンプ**に参加した中学生が言ってました。「僕、このキャンプに来たくなかったんです。クリスチャンの親が勝手に申し込んで来させられたんです。でも、来てみてむっちゃ良かったです。来年も来たいです！」もう最高の誉め言葉。嬉しかったですねえ。なぜキャンプに来たいと思わなかったんですか。経験したことがなかったからです。素晴らしいところだと思わなかったからです。お風呂に入るのがいいと分かったら、それを経験したら、「入ってよかった」ってなるんですよ。

クリスチャンの中にも、天国にあんまり憧れがない人っていますよ。「今充実してるし」「ちょっとコレやってからでいいです」とか、そんなこと思ってる人いませんか。私もそれ時々言うんですけど。なんで天国に対する憧れがそんなに強烈じゃないのか。そもそも、自分たちが行こうとしている天国がどんなに素晴らしい世界かについて無知だからです。なぜ無知なのか。天国について詳しく書いてある**黙示録**を学んでいないから。天国のについての一番詳しい情報は**黙示録**に書いてあるんですねえ。

さて、天国（**新しいエルサレム**）について、二人の証言者の証言が**2 1章**で始まります。一人は御使い。もう一人はイエス・キリストご自身です。では一人目から見ていきましょう。

3a 私はまた、大きな声が御座から出て、こう言うのを聞いた。

大きな声が御座から出たというのは**黙示録**に**2 1**回出て来ますが、これは**2 1**回目。1～**2 0**回目まで全部、御座にいる御使い（4つの生き物）、大きな声を出す特別な御使いがいて、その宣言がある。つまり、至聖所に一番近いところにいた御使いが、どんなに素晴らしいところかを言ってくれるんです。

3b 「見よ、神の幕屋が人々とともにある。神は人々とともに住み、人々は神の民となる。神ご自身が彼らの神として、ともにおられる」

見よ、神の幕屋が人々とともにある。幕屋は旧約時代、神が臨在する場所ですが、簡単にいうとテントです。

私は菅平高原で毎日散歩に出かけました。テクテク歩いていたら、ある所に一面緑の芝生の場所があったんです。上から見ると、色とりどりのテントが張ってあるんですね。家族のワイワイ楽しそうな声が聞こえて、のどかだなと思って下りて行きました。紫、グリーン、ブルー、今のテントはオシャレですよ。

テントの中ではお父さん、お母さん、子供たちがハイチュウ食べてたりして、私も欲しいなと思ったりして、楽しい雰囲気が伝わって来るんですね。テントの中には家族の交わりがあります。紫色のテントでは日差しが紫色になって、そのテントの中を照らしていますよ。

神の幕屋は神の人格が幕屋の中に満ちているんです。幕屋の中で神は人々とともに住み、ともにおられる。それは神さまの素晴らしいご人格が満ち満ちている世界で、神ご自身にギュッとハグされているような感覚をもつ場所なんです。

皆さんは尊敬する人がいますか。私も何人かいますが一つ共通点があります。それはイエス・キリストの人格に似ている人。イエスではないけど、その人格に似ている人と話したり過ごしたりすると癒されるんですね。

イエスに似ている人と話すことが私を元気にしてくれるのなら、イエス・キリストご自身が一緒にいて、語らいの時間があって、共に生きていくことは、どんなにか慰められ、力がみなぎることでしょう。

「新しいエルサレムはそんなところなんだよ」と御使いが言ってるんです。

4 神は彼らの目から涙をことごとくぬぐい取ってくださる。もはや死もなく、悲しみも、叫び声も、苦しみもない。以前のものが過ぎ去ったからである。

神は彼らの目から涙をことごとくぬぐい取ってくださる。

涙って嫌な涙だけじゃないですよ。嬉し涙、感激のあまり出て来る涙は「もうちょっと流させといて」ってなる。でも、ここの涙はそんな涙じゃなくて、4つの原因で流す涙なんです。それは死、悲しみ、叫び声、苦しみ。

死。自分でも愛する人でも、当事者の死別の悲しみは本当に深刻です。

皆さんも経験あるのではないですか。死別の後、なんと涙は涸れないことでしょう。いつまでもその人の人生に暗い影を落とすことが、ままあるのです。

死は涙の原因です。死がなければどんなにいいだろうということですね。

悲しみ。悲しみは何かを喪失した時に湧き出る感情だと、ある本に書いてありました。大切なもの、信用、全財産、宝物、子供…などをなくした時、悲しみにくれますね。何かが失われていく世界、それがこの世界なんです。

叫び声。これは恐怖に由来する苦痛を表します。ある聖書では呻き。

生きてると、生命を脅かすものがたくさんあります。怖くてたまらないもの、色々あるんじゃないですか。恐怖によって生まれる苦痛、それが叫び声なんですね。

苦しみ。死、悲しみ、恐怖以外のすべての原因によって起こるものを苦しみと書き

ました。

死、悲しみ、叫び声、苦しみはいつ始まったんですか。

最初の人間アダムとエバが、神が禁じた善悪の知識の実を取って食べたことによつて、この4つの不幸がウワーツと出て来た。

つまり、罪の結果4つの苦しみが出て来て、私たちに涙を流させるのです。

創世記3章で罪を犯し、それ以降この4つに起因する物語が次々展開したんです。

しかし、4節の最後には以前のものが過ぎ去った。

死、悲しみ、叫び声、苦しみの根源である罪が全部過ぎ去った。

千年王国でさえ罪はありました。死ぬ人がいたんです。

でも、新天新地では罪のかけらがどこにも見当たらない。どこにも罪の痕跡がない。

悲しみ、不幸の原因が完全に拭き取られた世界。これが新しいエルサレムです。

これが天国なんです。

私は最後はここに行くって決まっています。だから、色々ガッカリした時は考えますよ。私の最終的な行き先はここだ！クリスチャンの皆さん、ここに行くんですよ！信じていますか。信じてるなら、もうちょっと幸せそうな顔をして、生きてもいいかもしれませんね。

まだキリストを受け入れていない方。前回の白い御座ではなく、こちらの新しいエルサレムに向かって行くことは素晴らしいことですよ。神はそれを、あなたに受け取ってほしいと願っておられます。ぜひイエス・キリストを信じてください。素晴らしいゴールに向かって歩む人生に変えていただくではありませんか。

チャンネル登録もお願いします。ではまた ごうちゃんねるでお会いしましょう。皆さん、お元気でいらしてください。さよなら！



☆引用；日本聖書刊行会『聖書 新改訳 2017』いのちのことば社,2017